



# 教員が研究の楽しさを語る

第234回(10/15)森永 良丙先生推薦

## ブックガイド



※掲載されている本はL棟2階 あかりんアワーのコーナーに配架されます。

### Book1

#### これからの集合住宅づくり

著者：延藤安弘，熊本大学延藤研究室著

出版：晶文社，1995.4

コメント：古い団地の建替、住宅地の再開発、コーポラティブ住宅など住民参加の先進事例を読み解き、相互に響きあう生活と空間のあり方を目指した計画論です。



### Book2

#### 対話による建築・まち育て：参加と意味のデザイン

著者：日本建築学会意味のデザイン小委員会編著

出版：学芸出版社，2003.4

コメント：まちづくりにおける主体性をいかにして育むか。まちの公共性、物語、記憶など多岐にわたる視点からまとめた一冊です。



### Book3

#### 場所の現象学：没場所性を越えて

著者：エドワード・レルフ[著]；高野岳彦，阿部隆，石山美也子訳

出版：筑摩書房，1991.9

コメント：副題に「没場所性を越えて」とあるように、現代社会において喪失しつつある「場所性」を再定義し、その重要性を指摘しています。あらゆる専攻の方におすすめます。

